

議題 2 - 2

令和5年度外部評価 対象事業について

- 1 対象事業選定の視点
- 2 対象事業一覧
- 3 対象事業概要

1 対象事業選定の視点

R3～R4年度外部評価未実施課

- (1) **業務の効率性**や**最適化の観点**から外部評価が必要と考えられるもの
- (2) **行政課題**として検討が必要なもの
- (3) その他、**社会情勢の変化**に対応するため、外部評価にかける必要があるもの

9

2 対象事業一覧

No	課名	事務事業名	事業選定の視点
1	市民課	結婚記念品贈呈事業	(2) 業務の効率性や最適化の観点から検討が必要 <目的達成による記念品の必要性>
2	高齢福祉課	生活支援体制整備事業 (あんジョイ生活サポーター養成研修)	(3) 社会情勢の変化に対応するため、外部評価にかける必要 <生活援助を担う人材養成研修の受講生が少ない>
3	健康推進課	健康づくり環境整備事業 (健康測定会)	(2) 行政課題として検討が必要 <健康維持・増進の啓発に対する働く世代への啓発が難しい>
4	農務課	アグリライフ支援事業	(1) 業務の効率性や最適化の観点から検討が必要 <申込者増加への対応困難>
5	公園緑地課	公園補修事業	(1) 業務の効率性や最適化の観点から検討が必要 <老朽化やリニューアルに対応する事業費・職員の不足>

3 対象事業概要

(1) 結婚記念品贈呈事業【市民課】

事業概要

本市に婚姻届を提出された方に、記念品としてデンパークの入園券(2枚)を贈呈しています。祝意をお伝えするとともに、本市の魅力をPRすることが目的です。

オリジナル婚姻届による目的の達成

本事業は平成27年度に始まり、当初は婚姻届を提出された方に「結婚記念証」と一緒にデンパークの入園券を贈呈していました。市制施行70周年を機に新たな祝意の表明と安城市のPRへの取り組みとして安城市オリジナルデザインの婚姻届出用紙を考案し、「結婚記念証」を廃止としました。現在オリジナルデザインの婚姻届出用紙の他に、記念品として入園券の贈呈を残していますが、事業の必要性を含めて検討する時期に来ているのではないかと考えています。



(2) 生活支援体制整備事業【高齢福祉課】

(あんジョイ生活サポーター養成研修)

事業概要

有資格の専門職が中重度者の介護サービスに従事できるようにする他、介護人材の不足を補い、地域福祉の担い手を養成することを目的として、あんジョイ生活サポーター養成研修を実施しています。養成研修を修了することにより、軽度の生活上の支援を必要とする高齢者を対象に、「掃除」や「洗濯」、「買い物」等、専門的な知識がなくてもお手伝いができる生活支援サービスを提供することができます。コロナ前は300名程のサポーターが登録されました(令和2~4年度は研修中止)。

研修修了者は、介護保険サービス事業所等で働き収入を得ることが可能となる他、ボランティア活動や町内の福祉活動に活かすこともできます。

介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防・生活支援サービス事業

訪問型サービス

生活支援訪問サービス

住民主体訪問サービス

短期集中予防サービス

移動支援サービス

通所型サービス

介護予防ケアマネジメント

一般介護予防事業サービス事業

受講申込数の伸び悩みと年齢の偏り

少子高齢化の進展に伴い、介護人材の需要の高まりが想定されています。コロナ禍により養成研修の中止が続きましたが、コロナ禍以前より、あんジョイ生活サポーター養成研修の申込者数は少なく、また、修了者の多くは高齢者です。今後の介護需要の高まりを見据えると、若年・中年層の参加者を増やしていく必要があります。

12

(3) 健康づくり環境整備事業 (健康測定会) 【健康推進課】

事業概要

市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組めるよう、多くの市民が集まる場所などで健康測定会や健康に関する啓発を実施しています。健康測定会では、測定結果を踏まえて助言を行い、健康づくりを自発的に始めるきっかけを作ります。

《測定項目》

体組成、骨強度、血管年齢、脳年齢、食育SATシステム

《実施場所》

市内スーパー、イベント会場、事業所、アンフォーレ、各保健事業

《参加者数》

R4 : 1,782人 R3 : 476人 R2 : 281人 R元 : 2,718人 H30 : 2,014人

※R2、R3は、コロナ禍により開催規模を縮小して実施していました。

勤労世代への啓発困難

高齢化社会を背景に、健康を維持・増進するための健康づくりを多くの市民に取り組んでもらうことは重要な課題です。しかし、健康測定会を平日の日中に実施しているため、参加者は高齢者が多く、勤労世代への啓発が難しい状況です。



13

(4) アグリライフ支援事業 【農務課】

事業概要

アグリライフ支援センター

野菜づくりの講義や農作業の体験を通して、「食」と「農」への理解や、市民と農業者のふれあい、市民の健康づくり・生きがいを促進しています。

- 実習区画農園 30区画 (1区画約30㎡ : 12m×2.5m)
- 体験・スポット講座共同ほ場 約475㎡

≪講座概要≫

- ・「野菜づくり講座」(週2回・約4か月間・15,000円、年2期開催)
- ・「スポット講座」(1日開催、年6回・一組500円~2,000円程度)
- ・「一坪農園」(全7回・年2期・一組1,500円)

※対象は全て安城市在住者



増加する市民のニーズへの対応困難

野菜づくりコースやスポット講座・一坪農園の**申込者が増加している一方で、受講者数の定員を増やすことは難しい状況**です。また、耕作地は借地しており、借地料を払っていますが、いつまでも借りられる保証はありません。



14

(5) 公園補修事業【公園緑地課】

事業概要

公園施設長寿命化計画に基づいた公園施設の更新工事や、公園リニューアル計画に基づいた公園のリニューアル整備を実施しています。また、不具合が生じた公園施設の修繕工事などを行っています。

- **公園施設長寿命化計画**：昭和期に整備した45公園の遊具等を対象にした調査結果から劣化状況、利用形態等を考慮した77基を対象に、平成28年度から遊具を更新しています。
 【R3】5基（砂場、複合遊具、ロープウェイ、砂場撤去等）
 【R4】5基（ブランコ2基、複合遊具3基）
- **公園リニューアル計画**：昭和期に整備した45公園から、街区公園を15か所選定し、平成30年度から整備しています。
 【H30】大西公園 【R元】朝日公園 【R2】美園公園

公園整備に係る負担

計画に基づき順次整備・更新を進めていますが、老朽化が進むにつれて、更新してもまた新たな遊具の更新が必要となる他、遊具以外の施設についても更新が必要となります。また、リニューアルに多額の費用が掛かりますが、事業費は限られています。



つなか

今後の流れについて

8月21日(月)

行政改革審議会【本日】

8月末~9月初旬

外部評価事業評価シート、資料等の送付

9月15日(金)

外部評価事業評価シートの内容へのご意見・質問提出期限

10月上旬

ご意見・質問に対する各課からの回答送付

Aグループ：10月20日(金)

Bグループ：10月23日(月)

外部評価(各グループ2又は3事業)

16

各評価シートに関するコメントについて

- 各事業に関するご意見・ご質問がございましたら、「**令和5年度外部評価事業評価シートに関するコメント**」の該当事業の用紙にご記入ください。
- **9月15日(金)まで**に事務局へご提出いただきますようお願いいたします。
- なお、ご担当のグループ以外の事業につきましても、ご意見・ご質問などございましたらご提出ください。